



# 柏ビレジ・ニュース

柏ビレジ自治会発行



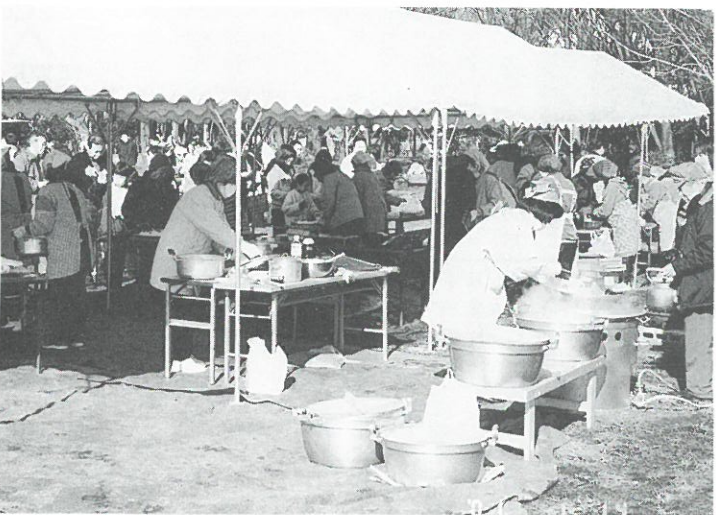
2001年3月3日



21世紀の鏡割り、新世紀のスタートに乾杯



つきたてのお餅と豚汁に舌づつみ、お天気もよくお腹も最高！



豚汁作りで大奮闘の子供会 とってもおいしかった

一月十四日(日)恒例の餅つき大会が近隣公園で行われました。この冬は暖冬とは名ばかりで、毎日寒い日が続いていましたが、幸い当日は朝は冷え込んだものの日中は穏やかに晴れ、まずまずの日和でした。



餅つき大会は時間との戦いです。なにしろ二百kgのお米を餅にするのですからお餅をつく回数も五十回程になります。また冬は日が暮れるのが早く、すぐ寒くなるので、三時頃にはすべての作業を終えなければなりません。朝水道が凍って水が出ないというハプニングがありました。役員の方々が、そして快く餅つきを手伝って下さったビレジの住民の方々の素晴らしいチームワークで次々に餅が出来上がり、二時過ぎには全部のお米をつきあげる事ができました。心よりお礼申

上げます。お餅と同時に豚汁も用意しましたが、これは子供会にすべてお任せして、準備良く当日早々に出来上がり、一時頃にはすっかりなくなりました。子供会の皆様にも御礼申し上げます。日常の雑事に追われ惰性の中に埋もれている時、仲間と一緒に働いて美味しいものを食べ、談笑する。特別目新しいことではないのですが、いつもと違うところも生き生きとした自分に気付きました。楽しそうに餅を

ついていて人を見て、この人もそうかなと思ってきました。来年も是非餅つき大会に来て下さい。美味しい。美味しくて、たのしいですよ。最後になりましたがご協力いただいた砂川園芸様、吉田様、消防の大家分団の皆様、平野燃料店様に厚く御礼申し上げます。

## もちつき大会 心をこめてつきました

実行委員長 荒木明代

## 日本の伝統文化を 楽しんだジョシア君



松本 誠



海外からもとび入り参加、ハイもつと腰を入れて

久し振りの餅つき大会に、米国から来日している交換留学生のジョシア君十九才とホストファミリーを日本の伝統文化に接してもらおうと柏ビレジに案内し、餅つきはもちろん、けん玉、凧上げ、羽根つき等に参加したり、見たりと大変喜んで、米国に帰ったら是非、けん玉はやりたいと言っておりました。ふと十九年前を思い出して一からスタートしたこの餅つき大会が住民の皆様の努力で今日まで続いていて大変感激しました。ただ、創成期にご尽力されたかつての役員さん方のお顔が少ないのが一寸と残念に思いましたが……。役員の方、子供会のお母さん方には本当に御苦労様です。これから末永くこの素晴らしい伝統文化が続きますようにと念じております。

それぞれの  
持ち味生かされた  
.....  
子供会会長  
河原美佳

大根、ごぼう、人参、里いも、蒟蒻、油揚げにネギそして豚肉。前日午後一時から始めた下拵えは、気がつくとも夕方。晴れて当日、近隣センター調理室と会場に分かれ、皆担当以上の働きで、どんどん仕上がる豚汁と大根おろし。心配だっ

どの行事にも、役員それぞれの持ち味が生きた活動でした。ご協力、応援いただいた多くの皆様に心よりお礼申し上げます。年々減少を続ける子供の人数ですが、健やかなその成長を見守って下さる方が多いこと改めて幸せに思う日々です。

た豚汁の味も、食材の旨味に『まごころ』の隠し味が溶け込んだ出来。早々に完売。豚汁を配れなかった皆様、ごめんなさい。



もちつき名人、吉田さん、今年も大変お世話になりました。



ご協力いただいた砂川園芸様、適切なアドバイスありがとうございました



# 三年間を振り返って

副会長 古関麗子

今年度の自治会の行事も「もちつき大会」を以って無事終了いたしました。どの行事をとっても天気心配でしたが、幸運にもいつも天気に恵まれ無事に終わりました。また役員数41名中33名という圧倒的多数を誇る女性役員のパワーには目

を見張るものがあり、まさに新世紀を象徴するものと言えましょう。私自身は、支部長として一年、副会長として二年間務めさせて頂きました。その間、多くの人と知り合い楽しいこと面白いことが沢山ありました。行事が成功に終わった時は大変嬉しい気持ちになりました。

しかし、この三年間家族には迷惑をかけました。快く許してくれた主人と息子達に感謝したいと思います。さて、当自治会も創設以来二十年目を迎えるようとしております。その間多くの方が役員として携わって来られました。都内及び近郊各地より移り住む人の多い柏ビレジというコミュニティを、今日のような立派な自治会に築き上げて来られた初代会長の戸崎様はじめ、

歴代会長の皆様方、役員Bの方々のご努力に感謝すると共に、敬意を表したいと思います。

改善すべき点もあろうかと思いますが、先輩方のお知恵を尊重しつつ協力し合いよりよい自治会活動を目指すことが大切なことだと痛感いたしました。私自身意無く役員の任務を終えることが出来ほつとしております。

私が柏ビレジに入居したのは、八年前の秋でした。途中、主人の転勤で新渇で二年半を過ごし、ビレジに戻って一年、ようやく落ち着いてきたところで、自治会役員のお声がかかるといふ何とも良い？タイミングでした。十月が過ぎ、各行事のお手伝いは大変ながらも、そ

れぞれの行事を今までよりずっと身近に感じ、楽しく仕事をさせて頂きました。私の仕事は、自治会館使用料と自治会費の徴収が主なものでしたが、自治会費については、色々な苦勞がありました。ひとつには、転出・転入の際届出を支部長へしない

方がいる事、次にビレジ内での移動でも支部長への報告に加え、銀行の手続きが必要である事を知らない方がほとんどである事、また、年二回の引き落とし時に銀行の残高が不足している方が多い事などがあります。この様な場合には、それぞれの様に電話をしたり、徴収のお願いに伺ったりします。

とはいえ、一五八〇件近くの住民のほとんどの方々に自動引き落としの手続きを

して頂いており、大変助かっております。手続きをされていない方は、どうぞ事務の円滑化にご協力ください。来年度の会計の方がスムーズに仕事を行える様に、自分なりに工夫した事を伝え一年の仕事を終えたいと思っております。

最後に会員の皆様にお願いです。色々な行事にもっと参加してみませんか。運動会なんて、結構楽しいですよ。役員一同、歓迎いたします。

## いろいろな行事がありました。



柏まつり田中地区大会 7/2



柏踊りコンテスト 7/29



柏ビレジ夏まつり 8/25~26



田中地区市民運動会 10/1



柏ビレジ文化祭 11/11~12



柏ビレジもちつき大会 1/14

## 一年間の自治会活動から私なりに思うこと

総務部長 林田尊虎

この一年、総務部長という立場で、人生で初めて私的の活動に参加させて頂きました。当初は、仕事柄、ビレジには土、日曜日にしか居ない私には、無理な役職でかえって他の役員の方々に迷惑をお掛けする事になり、歴代の役員の方々が長年順調に運営されてき

た自治会活動に汚点を付けるのではないかと躊躇しつつ参加しましたが、どうやら大きな問題もなく、無事に一年の役責を全うできそうなどころまで来ました。これも、他役員、会員の方々のご協力があったことと感謝しています。さて、会社勤めの私にと

って、二十数年間仕事ばかりで、自分が生活している地域を自治という目で見た事も、考えた事も、当然、活動した事もなかった訳ですが、この一年間の活動の中で、最近のニュースが伝えるゴミ処理問題、地域活性化、高齢化少子化問題等々、考えさせられる年でもありました。確かに街を歩いてみても高齢者の方々が少しずつ増えているようですし、小学校のクラス数も一時期に比べれば減少して

います。また、一昨年前、景気低迷の時代の流れとしては、街の生活の中心であった東急ストアの撤退があり、生活に不便を感じている方々(特に高齢者の方々)が多いように聞いています。今年で自治会活動も二十周年目になります。二十一世紀を迎え、私たちの子供、孫達が将来にわたりビレジは生活し易い、ビレジに住んでいる事に誇りがもてる街作りを願っています。

## やりとげた達成感と充実感に満足

事業部 石井豊美

これまで自治会役員を経験もなく、全く自信がなかったのですが、事業部としての重責を何とか果たすことができました。正直ほつと致しております。これも、自治会役員始め皆様のご協力の賜と、本当に感謝致しております。

柏まつりでは、ビレジ踊り

の会が見事、県知事賞を受賞されました。踊りの会の方々の女性らしくしとやかな踊り、迫力ある太鼓に大いに盛り上りました。

夏祭りは、大勢の方に楽しんでいただけたことと思っております。次回は、踊りの輪が、幾重にもなることを期待しています。

グランドコンディションが最悪の中行なわれた秋の運動会では、殆どの競技に役員が出場しなければならぬ状況でした。もつとたくさんの若い方に参加していただければ優勝できたのではと、少し残念でした。

十一月の文化祭では、多くの展示品を出展していただきました。一つの自治会で文化祭を催すことができているのですから、本当に素晴らしいことだと思います。年明けのもちつき大会は

厳しい寒さの中、前日の米ときから当日早朝の準備と結構きつい作業でしたが、皆様に滞りなくおもちをお渡しできて何よりでした。

いずれの行事においても、体力、時間を必要とするものでしたが、達成感や楽しさを感じることができました。もつと、多くの方々に自治会活動に関心をもっていただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

# 商店街の活性化と

## 一年間を振り返って

自治会会長 押田 英雪

会員の皆様方のご協力により十二年度の自治会活動も、まもなく一年が経過します。役員一同、一丸となり任務を遂行してまいりました。役員の皆様へ御礼申し上げます。又、自治会活動にご協力いただきました各諸団体の皆様、並びに各個人の皆様に紙面にて、御礼申し上げます。

今年度の実施した課題事項及び事業等の報告については、後日開催される定時総会の資料にて報告させていただきます。

柏ビレジ住民の最も関心が有ります、ビレジ商店街の活性化について朗報を報告させていただきます。昨年十一月に、東急住宅製造より、マツモトキヨシ空店舗及び中華料理店開心の二店舗を改装して、コンビニエンスストアの出店を致した旨の話が有り、

今まで数度の会談を致しました。二月初旬に、東急住宅製造側とコンビニ側との契約が成立し四月には開店



4月 コンビニエンスストア開店！

致します。販売商品については住民の皆様の意向を尊重した商品を扱っていただけるよう、要望して有りますので住民の皆様、商店街の活性化及び繁栄の為に是非共にご利用ください。現在営業中の他店のご利用も重ねてお願い致します。私、会長職として一年間を振り返って見ますと、前年四月の新役員の役員会から今日現在まで、自治会行事田中地区行事、その他の協議会会議、近隣町会行事への参加、柏市主催行事等と

多岐にあり、多忙の日々でしたが、プラス思考で楽しく仕事をさせていただく事が出来ました。自治会で毎年課題に上る迷惑駐車、犬の糞害等については担当部署役員が真剣に取り組み、わずかですが改善されたと思われまします。様々な諸問題や課題が発生しますが、早急に解決できない案件も多々あり難しさを痛感しています。

柏ビレジも少子高齢化が進行し、今後の重要課題として取り組まなければ自治会活動にも支障をきたすものと思います。最後にになりましたが、自治会に多額のご寄付を賜りました貴殿に紙面にて御礼を申し上げます。本人の希望により匿名で賜りました。自治会活動の備品購入費として活用させていただきます。今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 防災訓練の実施

防災部長 三好宣和

「百聞は一見にしかず」とは、まさにこのことです。昨年、十二月九日(土)午後一時より「柏ビレジ初期消火訓練」を近隣公園で実施しました。柏西部消防署大室分署の方々の御指導のもと、消火器及び小型ポンプの消火訓練を実施しました。約三十名の方に御参集いただきました。特に各支部長の方々の真剣な取り組みが印象に残りました。

この際、学んだいくつかを御紹介いたします。消火器の消火について

①消火器だからといってガスレンジのすぐ近くに置かないこと。(火災時は、お

そらくレンジが火元で、消火器を手にする事ができな

②落ちついて対処すること。可動式小型ポンプ使用については

①ポンプ接続近くのホースには、一〜二mのたるみをもたせること。②消火ポンプにかかわる



者同士、しっかりと声をかけあふこと。などを体験的に理解できました。小型ポンプの使用方は、各支部長様に御理解いただいておりますので、御承知おき下さい。なお、可動式小型ポンプは自治会館わきの倉庫に格納されており、おきま



過日、ラジオ教育相談で「いじめにあっている女子中学生」の母親とカウンセラーの話聞いて驚いた。温厚で頑張り屋のその生徒は、或る日、学校で異様な光景を見てしまい、大きなショックを受けた。自分の顔だけが塗りつぶされている集合写真が廻し見されていたのだ。我慢しながら通学していたが、元気の無さに母親は気が付いた。やんわりと聞き正したが、本音をかくして「皆勤賞を目指して頑張っているだけ」という。「そのことを多忙な夫とは言え、かくさずに話しなさい。真剣に両親が理解した

## 心のバリアフリー

柏ビレジ緑化協定委員長 今野 三千男

最近、幼児虐待、いじめ、大人社会の歪など、後をたない。一方、社会はマニュアルに依存した効率を求める傾

上、子供さんが安心して送れる温かい家庭をつくることとが大切です。場合によっては学校を休ませてよいのです」とカウンセラー

向が強くなっているため、失敗が許されない機構になりつつある。本来、試行錯誤の中から成功が生まれるのだが、結果のみを求めようとする歪が、人の心に風洞の壁を作り出していかないだろうか。心の歪は外見では判らないために、いじめの深部は見逃がされやすく、深刻な事態を招きやすい。それだけに、思いやりのある「心のバリアフリー」が一番求められているのかもしれない。「いじめにあっている女子中学生」の健やかな蘇生を願わずにはいられない。尊い人命は平等だから。

## 図書室だより

### カルタ会

報告 戸崎 昭子

寒波襲来で空気は冷たいが日ざしは明るい、餅つき日和、カルタ会日和。参加者は二十人弱、幼稚園小学校低学年の参加がない。少し淋しい。小学校高学年の人達のプレイ

ぶりが初めてとは思えない程堂々としていて楽しかった。今年も又、新樹会カルタクラブのメンバーの御力添えをいただく。最初は自信なげにのび

していた手も会が進む程に激しくなって、声も高くなり時には笑い声があ

よめいて空気が熱くなる。今年是一家全員で参加なさった御家族があった。親子関係、家庭教育が厳しく問われている今日この頃心温まる思いがした。来年はもつととれる様にすると約束した子、カルタをする時は、年令も忘れ、日頃気になってる事も皆忘れエキサイトして心から楽しめるとおっしゃる方。

ほんの二、三時間のイベントながら、いろいろな抑圧から解放されたて楽しく遊べたと思う。参加賞のみかんの色もさえていた。私事になるが、私は戦中戦後にまたがる時期が遊びざかりといった世代なので「百人一首」は遠い存在であった。今思えば、世界に類のないすばらしい遊技で

## 図書ボランティア募集

○図書定(柏ビレジ近隣センター内)の管理、運営。自由閲覧方式なので当番は年に数回しか当りません。○イベントのお手伝い、かるた会、図書室祭り、古本市、読書会、料理講習会、その他

○お手伝いして下さる方は左記まで御連絡下さい。60街区3 湊 規子

33-7680



# ふる里再発見

鼻天下と、空ッ風で有名な、赤城山の南麓の小さな農村で育った私は、田圃の畔道をひび、あかぎれの手で小学校に通ったのも、今から七十年も昔でした。遠い故郷の思い出は今でも忘れる事は出来ない。

私の生まれた家の近くを昔は、利根川の本流が流れていたと聞かされていた。

男五人女四人の六番目に生まれた私は、親の苦労も知らずに、何時も心配ばかりかけていた。今から思うと申し訳無い事と、子供や孫を持つてつくづく思う。子供の頃は人一倍の暴れん坊で育ったので、何時も母から村八分にされたらと叱られていた。

その後、東京に大きな希望を、胸に抱きながら、生活が始まる。しかし、やがて満州事件、支那事件、戦火は次第に拡大、太平洋戦争へと発展していった。全国民の苦難の日々が年と共に続く様になって行った。

私も、昭和十四年四月現役兵として出征、中国各地南方戦線各地を転戦し、十八年三月ビルマから無事に懐かしい我が家に帰ってくる事が出来ました。

戦後は皆様同様に苦勞の連続でした。長年住み慣れた東京を後にして、ここビレジに住む様になって、早や

十三年半ばになりました。住んでみて近所の方々が皆親切にして下さるので、ビレジに来て良かったと、つくづく思う今日この頃です。

此処ビレジに近い所に、同じ趣味を持つ方と、知りあったことが一番嬉しかった。早速此の周辺の昔のこゝとを伺いに行く、昔、故郷を離れる時に母から言われた村八分とは、どんな事か尋ねてみた。

徳川時代は、この辺は本多家の飛び地で、船戸に代官所があり、各村々を支配その下に名主がいて、農民の年貢の取り立てや、その他の事を代官の下で働いていた。

その昔、大室村にはこんな古文書が残されていた。正徳三年（一七一三）の年号、下総国大室村西若衆の御条目の例「寄り合いの場所にて、何らに可寄、取極致候事、親兄弟とも決して他言致間敷候」とある。

何処の村の若衆組にも、他言無用の鉄則があった。要するに、若衆組内における秘密は、村人や家人と言えども漏らしては成らないと言う事だった。

村にはこの他に八分の刑というものもあった。村八分はもっとも重い刑罰で、八分になってしまつと

土地によつては一目で分かる様に縄の帯をしめさせる。下駄を履かせない、雨が降つても傘をささない。この他にも色々な刑罰があった。村には居られなくなる。天保年間、大室にあった話でこんな話が残っている。「明日の朝、権助の家に集まれとよ」

「腕と箸をもって集まれだとき。村八分だんべ」

「権助も馬鹿な事したもんだ、可愛想だが村の掟は守らなアなンねエ」

「三年八分」にするが、一同に意見はないかと申しのべる。

「んだ、名主様や、村役人が言うんちゃ仕方なかんべ」

「そうだ、そうだ、三年八分だ」やがて騒ぎ立てる村人の罵声によつて、三年八分の刑を権助一家に言い渡された。さアこのあとが大変だ。大釜で飯は炊く、大鍋で芋、大根は煮られる、飲めや、食らえの大番振る舞い、酒は飲まれる飯は食われる、一切合切、権助の負担であ

村人は誰も知らなかった。村八分とは……文字の示す様に、八分は断絶をするというもので、十分、つまり出産、成人、結婚、葬式、法事、病氣、火事、水害、旅立ち、普請ではないかと思う。八分は断絶しても二分は残すという意味だと思

この二分が「葬式」と「火事」だ。断絶しても「葬式」の時には、その家族の誰が死んでも村人は「葬式」を手伝つて「無礼講」という寄せ銭を出しあい、悲しみを共に、又、「火事」のあった時も、手を貸しあい、骨身を惜しまず働いてやろうと（八分の絶縁はしても）悲しい時には、お互いにその悲しさを分かちあおうとしたのが村八分なのである。

私、若いころ東京に出発する朝、母に言われた村八分の言葉がどんな事かも知らずにいた。この土地の方に徳川時代にこの様な風習があったと聞き、やはり私の故郷にも強く残つて居たのであろうか。それを母が心配して、それとはなしに言ってくれたのかも知れない。

昔の江戸社会には、新人をいじめる文化というのがあり、他の国から見れば、特異とも思われる現象かも知れない。旗本、藩士などの階級でも、家督を継いだ若者が、その役目に着くと、古い同役に様々な型を用いて、いじめられた。若衆組でもそれと変わらない。又、江戸伝馬町の牢でも牢名主に、新入りの者はいじめにあつてた。我国に軍隊が在った頃、初年兵は古参兵にしごかれたり、叩かれたり、時には、生傷の出来る様な扱いを受けた。これもいじめがもたらしたものと見えよう。今、世間ではいじめの問題が大きな社会の出来事として、新聞、テレビ等に依つて報道されている。昔の村八分と考え合わせると、どの様に考えたら良いのであろうか。

一考を要す所である。

おわり

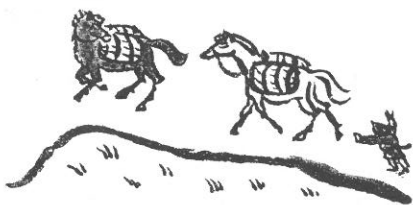
## 郷土史研究 ⑧

### 村の掟

と

### 村八分

磯田正八



村人は取り入れの済んだ晩秋の空に、夕焼け雲がだんだんと薄らいで行く、こゝかしこの道端に話の花を咲かせて居る。名主の「言い継ぎ触れ」は隣くうちに村内に伝わっていった。

明るく朝早く権助の家のまえに、村人が男も女子供も大ぜい集まってきた。

名主は一同の者へ「この度、権助は村の掟を破るのみか、年貢米に端数米を納めた」その事を取り上げて、

村八分には一年八分、三年八分、永代八分などあつて、村人との付き合いは断たれてしまふ。もし権助に同情して、何かをしたら同罪にされるので、村人は誰も近寄るものはいなかったという。

三年八分の刑は村の制裁とはいへ、どんなに辛く、また長いことか、権助は村に居ることが出来なくなり、ある夜、村抜けをしたとか、

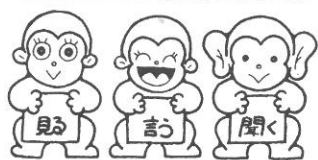
村八分にされた者を、のけ者にするのはなく、村の取り決めた掟などに対する罰であり、この様な懲罰風習は我が国ばかりに、伝承されて来たものであろうか。

主な参考資料  
豊嶋惣次郎著  
旧大室村聞書抄



ビレジ内に取り付けられた看板  
マナーをしっかりと守りましょう!

## 編集後記



ご協力ありがとうございました。

いつの間にか、記者の目で行事に参加している私達にビックリ！ 時間のない中、なんてこともない書体やワクにもこだわり、頭を悩ませ、より良い紙面作りをと心がけました。

第六支部・春日明子  
第四支部・林 弘美  
第一支部・安藤千恵子

## 第20回

## 柏ビレジ定時総会

日時：平成13年4月15日(日)

午後1時～

場所：花野井小学校体育館